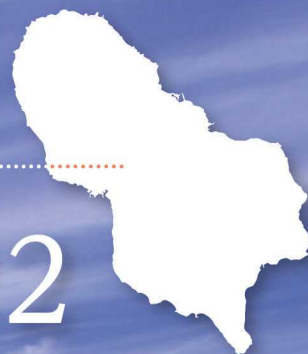


✈ HACHIJO 2022

はちじょう2022

東京都八丈町勢要覧



目次

黒潮に浮かぶ島 八丈島

八丈島の概要	2
島への交通	3
町のシンボル・交流	4
主なできごと2022	5

わたしたちの「はちじょう」

心と体を癒やす地球の恵み 温泉	6
街の将来像 ともに支えあうあたたかい町	7
まちづくりの基本方向	7
住民が主役の町／島を生かす町	9
歴史と文化を生かす町／クリーンアイランドを目指す町	10
国際交流員・地域おこし協力隊	11
八丈島の歴史と文化	12
八丈島の自然	14

資料編

地勢・気象・人口	15
産業	16
保健・福祉・医療	19
教育・文化	21
環境衛生	23
運輸・通信・エネルギー	24
建設	25
住宅・治安	26
財政	27
行政	29
議会	30

八丈町歌（八丈町の歌）

作詞 保岡直樹
作曲 高橋一美

碧い宇宙に 抱かれて
 恵み豊かな 海と島
 燃える太陽 育むいのち
 心やすらぐ わが郷土
 希望と笑顔に 満ちあふれ
 しあわせ彩る 八丈町よ

緑さわやか フェニックス
 花は優美な ストレチア
 紡ぐ歴史に 綾なす文化
 まねく旅人 湯の香り
 大空みあげて アカコッコ
 平和を奏でる 八丈町よ

熱い鼓動を はずませて
 夢が燦めく 風と波
 ごらん元気に 羽ばたく魚
 虹を描いて 春を呼ぶ
 力を合わせて たくましく
 未来へ躍進 八丈町よ



八丈島の概要

八丈島は東京の南方海上286kmに位置し、面積69.11km²のひょうたん型をした島です。地形的には富士火山帯に属する火山島であり、南東部を占める三原山（700.9m）と北西部を占める八丈富士（854.3m）から成り立っています。集落は、島の南東部に位置する三原山を中心とする檜立・中之郷・末吉で構成される坂上地域と、島の経済活動の中心地である大賀郷・三根で構成される坂下地域があります。

また八丈小島は、八丈島の北西9.5kmの海上にあり、島のほぼ中央にあたる大平山（616.8m）から成る面積3.07km²の火山島ですが、昭和44年6月に全員離島し、現在は無人島です。

気候は黒潮暖流の影響を受け高温多湿で雨が多いことが特徴です。人口は7,042人（令和2年国勢調査）で、産業は農業（花き観葉植物栽培）と沿岸漁業を基盤としています。商工では焼酎造りやくさや加工、伝統的工芸品の本場黄八丈織などのほか、各種の観光関連サービス業が中心となっています。



島への交通

八丈島への空路は、東京・羽田空港より全日空のジェット機が55分で結んでいます。また、東京愛らんどシャトルが八丈島を基地にして青ヶ島、御蔵島、三宅島、利島、大島とアクセスしています（毎日就航）。海路は、東海汽船の大型客船が東京・竹芝桟橋から毎日就航しています。竹芝を夜に出発し、三宅島・御蔵島を経由して10時間25分で八丈島に到着します。



八丈島海路の沿革

1910 (明治43) 年	東京湾汽船会社と八丈島有志代表浮田鉄吉氏、山田喜代吉氏が毎月1回以上の航海契約を結ぶ(芙蓉丸96トン)
1922 (大正11) 年	5月 八丈丸 (345トン) 三宅島・八丈島就航
1925 (大正14) 年	4月 八丈丸、三根沖で暴風雨のため遭難沈没(船員13名死亡)
1926 (昭和元) 年	4月 三宅島・八丈島、東京府知事の命令航路となる
1930 (昭和5) 年	10月 東京から八丈島寄港、小笠原父島・母島に至る定期航路開始。主として桐丸 (531トン) が就航
1941 (昭和16) 年	戦時下、桐丸の月6回の就航が萩丸3回の就航になる
1945 (昭和20) 年	戦時下、4月16日東光丸撃沈される(約120名死亡)
1947 (昭和22) 年	6月 黒潮丸 (496トン) 東京-八丈島間就航
1948 (昭和23) 年	3月 第3旭丸、八丈島藍ヶ江港で遭難
1957 (昭和32) 年	東海汽船八丈島代理店を直営に切り替え、八丈島支店を設置
1965 (昭和40) 年	8月 神湊港底土岸壁完成、年間通して約90%の接岸が可能となる
1968 (昭和43) 年	10月 貨物船弥栄丸 (330トン) 三宅島・八丈島間に就航
1971 (昭和46) 年	6月 ふりいじあ丸 (2,286トン) が就航
1978 (昭和53) 年	4月 すとれちあ丸 (3,708トン) が就航
1983 (昭和58) 年	3月 ふじしま丸 (149トン) 八重根港入港
2002 (平成14) 年	5月 さるびあ丸 (4,973トン) が就航
2012 (平成24) 年	2月 八重根港船客待合所供用開始
2014 (平成26) 年	6月 橘丸 (5,681トン) が就航
2014 (平成26) 年	7月 神湊港(底土) 船客待合所供用開始
2020 (令和2) 年	6月 さるびあ丸 (3代目・6,099トン) が就航

八丈島空路の沿革

1953 (昭和28) 年	青木航空就航(不定期)
1954 (昭和29) 年	5月 飛行場開設、青木航空セスナ機就航
1955 (昭和30) 年	4月 日本ヘリコプター輸送(株)の双発機(11人乗)週2回就航
1956 (昭和31) 年	青木航空が日本遊覧航空と社名変更 日本ヘリコプター輸送(株)の双発機(11人乗)週4回就航
1957 (昭和32) 年	12月 日本ヘリコプター輸送(株)が全日本空輸(株)と社名変更
1958 (昭和33) 年	12月 八丈島空港(第3種空港)設置許可
1959 (昭和34) 年	日本遊覧航空のヘロン機(15人乗)が就航するようになり、初めて客室乗務員が乗るようになる 全日空DC-3型機(30人乗)週2回就航
1960 (昭和35) 年	6月 日本遊覧航空のヘロン機が名古屋へ就航 日本遊覧航空が藤田航空と社名変更
1961 (昭和36) 年	8月 八丈島空港供用開始
1962 (昭和37) 年	5月 藤田航空ヘロン機、八丈富士に激突(19名死亡)
1963 (昭和38) 年	8月 藤田航空、全日空と合併し、八丈空路は全日空の運行となり、フレンドシップ機(40人乗)就航
1969 (昭和44) 年	4月 YS-11型機(64人乗)就航
1972 (昭和47) 年	6月 滑走路延長1,200mから1,500mへ供用開始
1973 (昭和48) 年	3月 名古屋定期路線開始
1975 (昭和50) 年	12月 第2次拡張計画決定
1982 (昭和57) 年	4月 滑走路1,800m×45m供用開始 B737型機(126人乗)就航、ターミナルビル供用開始
1985 (昭和60) 年	5月 エアーニッポンにYS-11型機路線移管 11月30日をもって名古屋定期路線休航
1988 (昭和63) 年	4月 エアーニッポンにB737型機路線移管
1989 (平成元年) 年	8月 ヘリコピューター第1回試験運行(8/12~8/19)
1993 (平成5) 年	7月 八丈島-東京間のジェット化促進 7月 ヘリコピューター-運航管理事務所及び格納庫完成 8月 ヘリコピューター-運航開始
2000 (平成12) 年	7月 B737-400型機(170人乗)就航
2004 (平成16) 年	10月 滑走路2,000m供用開始
2005 (平成17) 年	10月 エアバス320型機(166人乗)就航
2009 (平成21) 年	10月 大島經由便運行
2012 (平成24) 年	10月 大島經由便廃止 4月 エアーニッポン、全日空と合併し、八丈航路は全日空の運行となる
2017 (平成29) 年	10月 B737-800型機(166・167人乗)就航 9月 特定有人国境離島地域社会維持交付金を利用した空路運賃低廉化が開始



町のシンボル

町の紋章

この紋章は「躍進八丈」の意義を表現しています。八丈の文字をそのまま鳥形に意匠することにより、八丈が希求する永遠の平和と未来永劫やむことなき進展とを象徴したものです。1957（昭和32）年10月制定。

島内外に積極的にPRし、町の産業振興緑化推進及び自然保護等に努めるため、一般公募による以下①～④のシンボルが1974（昭和49）年11月24日に決定、同26日に行われた町制施行20周年記念式典において発表されました。

①町の鳥／アカコッコ

ツグミの一種で伊豆諸島とトカラ列島だけに生息します。翼長平均12センチほどの小鳥で、広葉樹林などに巣を作り昆虫や木の実などを好んで食べます。

②町の花／ストレチア

南アフリカ喜望峰が原産地で学名はストレチア・レギネ。ばしょう科に属し、花は葉のつけねから極めて優美華麗な長い花茎を出し、その形から“極楽鳥花”とも呼ばれます。

③町の木／フェニックス・ロベレニー

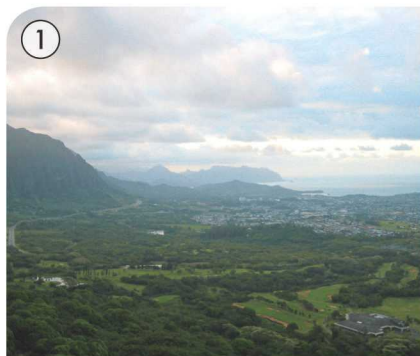
和名は“シンノウヤシ”で、原産はインドシナ。八丈島では大正10年に雌雄2本の移入からはじまり、太平洋戦争で一時中断するも、戦後、花き園芸が復興するなかで、文字通り「不死鳥」のようによみがえり、世界でも有数の栽培地となりました。

④町の魚／ハマトビウオ

八丈島では「ハルトビ」と呼ばれ、ハルトビ漁は明治時代から盛んに行われ、羽根のあるおめでたい魚とされてきました。ハルトビは鮮魚のほか、塩干し、くさや、燻製などに加工され、土産品として珍重されています。春先になると、産卵のため伊豆諸島南方から島伝いに北上することから、別名「春告魚」ともいわれています。



交流



①姉妹都市／ ハワイ州・マウイ郡

かつて日本のハワイと呼ばれた八丈町は、気候風土や基幹産業など、共通点の多い島同士として1964（昭和39）年8月10日にマウイ島においてマウイ郡と姉妹都市提携の調印式を行いました。

②姉妹島／沖縄県南大東島

1900（明治33）年に八丈島民が開拓を開始した南大東島とは1982（昭和57）年1月23日に姉妹島提携を結びました。

1月23日は八丈島からの開拓者が上陸の一步を印した記念日で、南大東島には八丈島にゆかりのあるものが多く残っています。

③友好都市／ 東京都小笠原村

小笠原諸島返還記念日の1988（昭和63）年6月26日に八丈町と小笠原村とが友好都市提携を結びました。

毎年6月には八丈町からの小笠原親善訪問が行われています。

主なできごと2022

HEAD LINE 2022

- 1 / 5 成人祝賀式
- 1 / 6~19 八丈島パブリックロードレース オンライン2022
- 3 / 19~4 / 3 第56回フリージアまつり
- 3 / 30 原田龍二さんへ「温泉で気持ちよく。マナーでさらに気持ちよく。八丈島」大使を委嘱
- 3 / 30 町公式Twitterアカウント「ロベレニくん」開設
- 4 / 2~3 フリージアインフィオラータ
- 6 / 5 クリーンデー
- 7 / 28 第67代ミス八丈島発表会
- 8 / 11 第21回八丈島納涼花火大会
- 8 / 30 八丈町、みずほ銀行、みずほリサーチ&テクノロジーズ「サステナビリティ及びDX推進に関する包括連携協定」締結
- 9 / 3~4 第14回RAINBOW CUP
- 9 / 28 「東京都八丈町と七島信用組合との連携に関する協定書」締結
- 10 / 10 第33回八丈島文化フェスティバル（舞台部門）
- 10 / 22 八丈町表彰式※対象者の自宅訪問により実施
- 10 / 22~23 第33回八丈島文化フェスティバル（作品展部門）
- 11 / 19~20 24時間チャレンジ八丈太鼓



©野呂美帆



心と体を癒やす地球の恵み 温泉



榎立向里温泉スタンド
 榎立向里温泉・ふれあいの湯・ふれあいの湯だんらん

A 榎立向里温泉スタンド
 榎立向里温泉(ふれあいの湯・ふれあいの湯だんらん)

B 中之郷温泉 (やすらぎの湯) **C** ブルーポート・スパ ザ・BOON
D 裏見ヶ滝温泉 **E** 足湯きらめき

F 中之郷尾越温泉スタンド

※長期休業中

※男女混浴のため水着着用
 ※せっけん・シャンプー使用不可

F 中之郷尾越温泉スタンド

G 末吉温泉 (みはらしの湯) **H** 洞輪沢温泉

※せっけん・シャンプー使用不可

詳しくは八丈町HPをご覧ください。

町の将来像

ともに支えあうあたたかい町

基本構想に掲げた八丈町の将来像は「ともに支えあうあたたかい町」です。世代、性別、思想などの多様性を尊重し、町民、地域、企業や団体、行政が協働することで、相互の知恵を結集し、新たなまちの魅力や価値を共に創りあげる「共創」の未来を目指します。

まちづくりの基本方向

住民が主役の町

島を生かす町

歴史と文化を生かす町

クリーンアイランドを目指す町



文化フェスティバル展示



撮影：かとうわかな



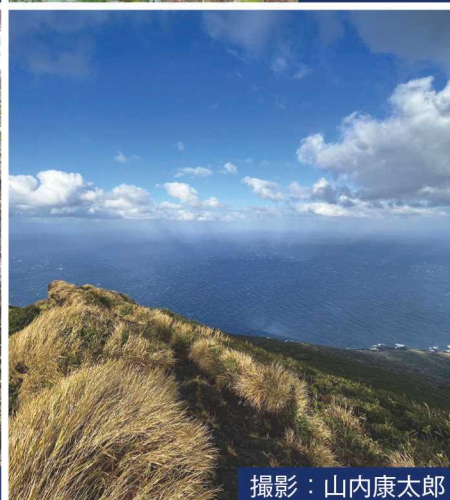
撮影：小春



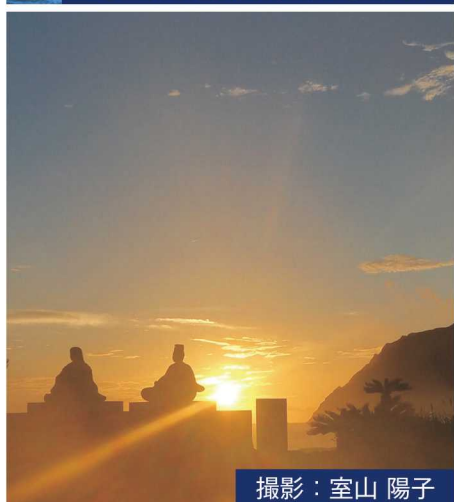
協力：東京海洋大学鯨類学研究室



撮影：山内康太郎



撮影：山内康太郎



撮影：室山 陽子



昔あそび大会



たんぼまつり



撮影：HiNARi



地熱発電利用事業住民説明会



クリーンデー

住民が主役の町

私たち町民は、文化、福祉、環境などの様々な活動に対して、活発に参加してきました。住民の主体的な活動はこれからのまちづくりにおいてもその中心に位置づけられるものです。



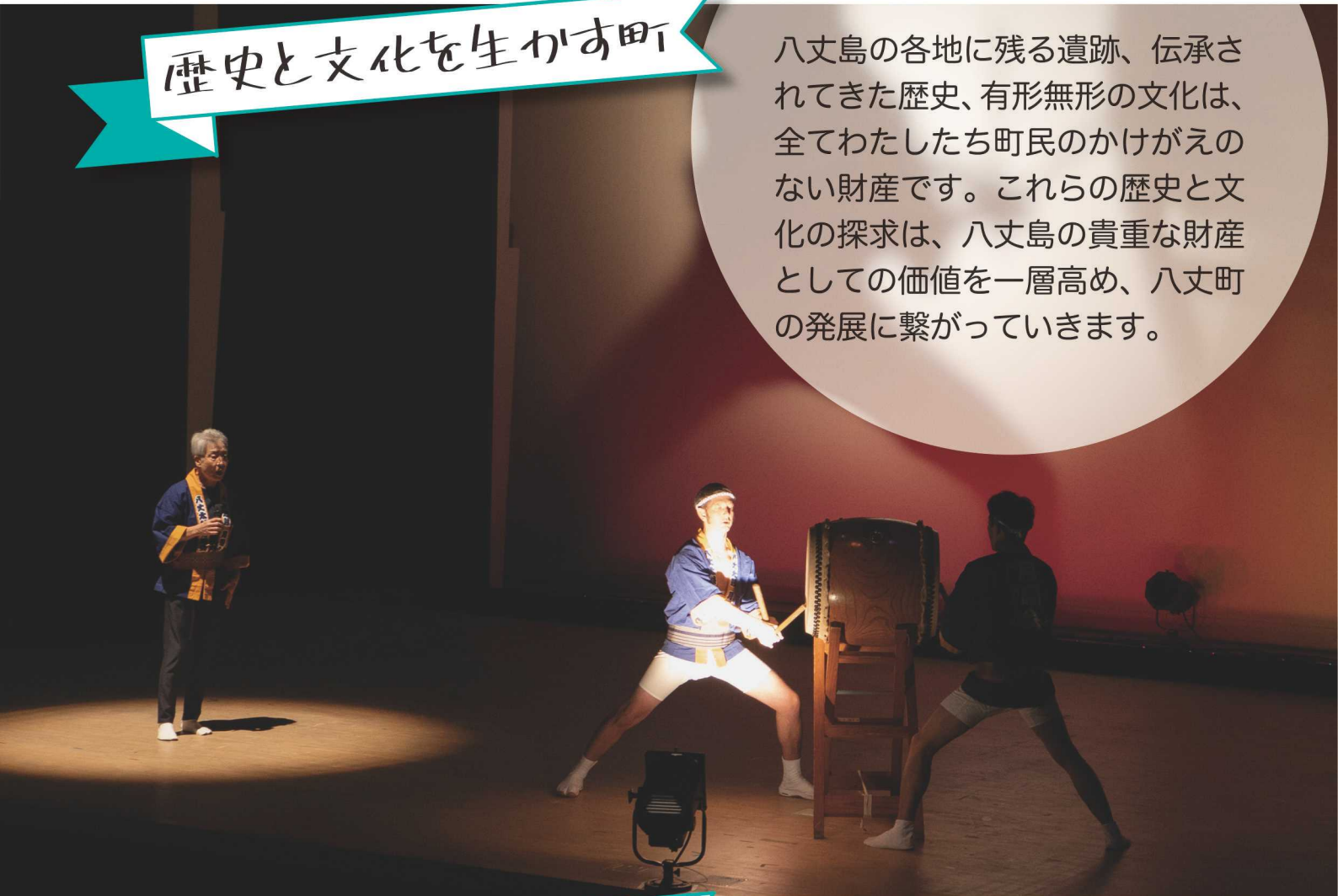
島を生かす町

八丈島の先人たちは、古くからこの広大な太平洋の領域に雄飛し、山や森や海の恵みを、暮らしの豊かさに変えてきました。島の魅力を生かすことは、八丈島の未来を照らすことに繋がります。

協力：八丈島観光協会、東京海洋大学
鯨類学研究室 撮影：加藤 庸介

歴史と文化を生かす町

八丈島の各地に残る遺跡、伝承されてきた歴史、有形無形の文化は、全てわたしたち町民のかけがえない財産です。これらの歴史と文化の探求は、八丈島の貴重な財産としての価値を一層高め、八丈町の発展に繋がっていきます。



クリーンアイランドを目指す町

撮影：sato

八丈島の美しい自然環境や景観は、町民や八丈島を訪れた人の心と体を癒やすだけでなく、自然エネルギーとして無限の恩恵をもたらす可能性を秘めています。また、自然環境の保護と活用や、環境負荷の低減は、町民の暮らしの豊かさを育むものです。

国際交流員

アスタ・ジュカウスカイター
2021年10月着任

2022年の活動

- ・イースターイベントの開催
- ・図書館、保育園へのリトアニア絵本・書籍の寄贈
- ・学校等への派遣による国際交流活動
- ・広報紙、町ホームページでの情報発信



八丈町国際交流員

地域おこし協力隊

隊員：新井 誠人
末吉多目的交流施設担当
2020年12月より活動中

隊員：鈴木 綾
再生可能エネルギー担当
2022年4月より活動中



2022年の活動

- ・末吉多目的交流施設利活用に向けた展示等の企画・調整など(新井)
- ・再生可能エネルギー利活用に向けた情報収集、企画など(鈴木)



地域おこし協力隊

八丈島の歴史と文化

八丈島は、伊豆諸島の最南部にあり、その周辺を黒潮本流が流れる「黒潮文化圏」と呼ばれる位置にある。黒潮は世界最速の海流の1つとされ、唯一大蛇行する性質をもつため、八丈島への漂着船が多かった原因にもなっている。また、青ヶ島以南への移動は困難であったため、古代から文物が堆積する場所でもあった。



先史・古代時代

八丈島には約7000年前から、丸太をくりぬいて作った船で島伝いに渡ってきた人が住んでいたとも言われているが、彼らは、現在の島民の祖先にあたるわけではなく、いずれまた他の島に渡っていったか、そのまま死に絶えたものと考えられている。人の定着生活は、弥生時代頃から始まったと考えられている。

■始祖伝説

八丈島には「丹娜婆」^{たなば}「八十八重姫」^{やそやえひめ}「徐福」^{じょふく}という系統を異にする3つの始祖伝説が残っている。

「丹娜婆」は、丹娜という女性とその子を始祖とする、日本で他に例のない母子交会の伝説であり、南方系文化にその脈絡が認められる。「八十八重姫」は、日本神話に登場する神、事代主命^{ことしろぬしのみこと}の妃である八十八重姫とその子を始祖とする内地系文化の伝説である。秦の方士「徐福」の伝説は、西方から流入した大陸系文化に属するもので、徐福に従って秦から来た男女500人ずつが八丈島・青ヶ島の始祖とされる。

■かっぺた織

アイヌのアットウシ織と同様に国内では珍しい古代織（機台を使わない織り方）と言われる独特のものである（後世の手が入っている）。1962（昭和37）年に「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」として国指定を受けた。

■高倉（高床倉庫）

高倉が存在するのは、八丈島・琉球・奄美が有名であるが、八丈島は弥生時代の登呂遺跡と同じ形式（柱が床を貫いて屋根に達するもの）であり、琉球・奄美に残るものとは、まったく別の構造である。

■八丈方言（通称：島言葉）

八丈島という非常に狭い地域でのみ使われている言葉であるにもかかわらず、他のどの地域とも連続性がない非常に独特な言語で、日本で一番古い日本語（奈良時代よりも前）の要素が残るとされている。ユネスコが発表した消滅危機言語の内の1つ。



中・近世

江戸時代は流刑の島（約1,900人流罪）として、1606（慶長11）年の宇喜多秀家（豊臣家五大老の1人）をはじめとして、多くの流人が流された。彼らが多くの貢献をしたことは事実であり、また、絶海の孤島というイメージも伴い、八丈島は流人文化であることが強調されることが多いが、前述のとおり古代から続く文化があることから流人の残した文化が八丈島の文化の土台になったとは言い難いだろう。

幕末には、幕府の政策の下、小笠原への開拓を目的とした移住があり（一時中断）、その後の南方進出の先駆けとなった。

■黄八丈

歴史的に長く珍重され、室町時代には貢納品、また、戦国時代には争いの元となった絹織物。現在でも伝統産業として生き続け、江戸時代と同様に地場の自然物を用いた染色（黄、樺、黒の3色で、縞や格子地に織る）、手織りで製作されており、国の伝統的工芸品に指定されている。明治時代以後は、生糸を移出した時代や種繭の特産地であった時代もあるが、現在では養蚕は行われていない。

■八丈太鼓と民謡、踊り

八丈太鼓は、1つの太鼓の片面を一定のリズムで刻む下拍子（下打ち）、もう片面を自由なフレーズを考えて打つ上拍子（上打ち）に分かれ、両面

から打つという日本全体で見ても非常に珍しい特徴をもち、現在でも島内の行事では欠かせない文化の一つである。そのほか、本土との関連性が感じられるショメ節や春山節などの民謡、榎立踊りなどは、東京都の無形民俗文化財に指定されている。

■『八丈実記』と流人近藤富蔵

幕末から明治初期の八丈島や伊豆・小笠原の歴史・風俗・習慣を知る上で貴重な資料である『八丈実記』は、1827（文政10）年に流罪となった近藤富蔵によって著されたものである。なお、近藤富蔵は、大島へ流された後に八丈島に渡ってきたという源為朝をモチーフにした為朝風の図案を考案したとされている。



近代以降

明治維新後、それまで伊豆国付（伊豆国に付属する）とされていた伊豆七島（現在の伊豆諸島）は、廃藩置県により韮山県、県名変更に伴い足柄県、そして静岡県となり、1878（明治11）年に東京府（現在の東京都）へ移管された。

幕末に始まった小笠原開拓を端緒として、明治時代以後は小笠原や鳥島、南大東島、そして、サイパン、テニアンなどに多くの島民が移住、開拓に従事したが、彼らは太平洋戦争において、玉砕するか収容所に入れられた後に日本へ送還される結果となった。

1954（昭和29）年に三根村・榎立村・中之郷村・末吉村・鳥打村が合併して八丈村に、その翌年1955（昭和30）年には八丈村・大賀郷村・宇津木村が合併し、八丈町が誕生した。

1969（昭和44）年、かつては500人以上の住民がいたとも言われる八丈小島は、最終的に100人を切る人口となるほど過疎化が進み、その生活環境の厳しさ等を理由として、全国初の事例となる全員離島がなされた。

なお、実際の有人島は9島であるにもかかわらず、現在でも旅行パンフレット等で伊豆七島という呼称が見受けられるが、これは、明治時代中期まで無人島であった式根島、遠隔の地として八丈島と一括りにされていた青ヶ島・八丈小島が、その数に含まれていなかったことに起因するものである。

■養牛

養牛は中世から行われていたと考えられている。江戸時代には牛の数は戸数よりも多く、昭和50年代までは牛の角突き（牛角力）も行われていた。明治以降は、乳量世界一の牛を生産するなど、

■焼酎（通称：島酒）と流人丹宗庄右衛門

十分な量のサツマイモが収穫できるようになる1835（天保6）年頃まで、八丈島は毎年のように飢饉に悩まされ、貴重な食糧であった米からの酒造りは禁じられていた。現在でも島民に愛されるサツマイモを原料とした焼酎は、1853（嘉永6）年に流罪となった丹宗庄右衛門によってその製法が伝えられたものである。

■八丈八景

観光地として紹介されることの多い大坂夕照をはじめとする八丈八景は、1866（慶応2）年に流罪となった鹿島則文によって選定され、その当時の八丈島の文人達によって、短歌や俳句、漢詩などが作られている。

八丈島は酪農王国として有名であったが、現在では、乳用牛から肉用牛へ移行しつつある。

■くさや

魚を開き、洗った後にくさや液、真水に漬け、乾燥させる、という製法の干物。八丈島のは明治時代初期に新島から伝えられたと言われており、他の島に比べてくさや液の塩分が高く、また、真水に漬ける時間が長いことから、匂いが少なく食べやすいことが特徴である。

■フェニックス・ロベレニー（通称：ロベ）とアシタバ

八丈島の農業の中心は観葉植物栽培であり、中でもその基幹となっている全国シェア95%以上のフェニックス・ロベレニーは、大正時代からその栽培が始まった。アシタバは、八丈島が産地として有名であることから八丈草とも呼ばれ、元々島民に身近な野菜である。昭和50年代頃からは健康食品として島外に販売され始めた。

■戦争遺跡

伊豆諸島の最南部ということで、第二次世界大戦中は本土防衛体制の一環として防衛強化がなされ、いまでも多くの戦跡が残っている。現在供用されている八丈島空港は、元々は、1927（昭和2）年に海軍飛行場として建設され、1944（昭和19）年に増設された場所にあり、特攻機が飛び立ったこともある。そのほかにも特攻兵器回天及び震洋の壕跡、最初にB29を捉えたレーダー基地跡、八丈と名のつく満蒙開拓団の石碑、多くの大型の陣地壕などがある。

八丈島の自然

八丈島は、海底火山の噴火によって、約10数万年前から生成されたと言われているため、地質年代的には古いものではない。また、孤島であるため、移入物が少なく、特徴的な動植物が多い。



地質学的な特徴…2つの海底火山がつながってできた“ひょうたん型”の島

八丈島は、単性火山である他の伊豆諸島の島と異なり、2つの性質の違った火山(八丈三原山と八丈富士)がくっついてできたひょうたん型の島である。

三原山は、10数万年前に噴火を始めた頃は富士型をしていたが、その後、約3万年前に巨大な陥没カルデラを形成、そしてそのカルデラを埋める噴火が繰り返し起きた(最終の活動は3,000年ほど前)ため、現在の複雑な山容を呈するようになったと言われている。その不整合面その他には、通年流れる川が複数存在しており、山自体の年代が古いことから火山灰が風化した土成分が多く水もちがよい上に、川の流れによる浸食が進んだことで谷が深い。そのため、伊豆・小笠原諸島で唯一水田が現在まで存在しており、昭和30年代に花き園芸に転作するまでは、十分ではないが稲作も行われていた。また、蓄熱層が存在し、温泉が湧いていることも特徴である。基底層は安山岩だが、岩質は玄武岩から流紋岩くらいまでの多様なものが存在している。

八丈富士は、約1万年前から噴火が始まり、最終の噴火は1605(慶長10)年頃、最終の活動は2002(平成14)年とされている。流動性の高い玄武岩の溶岩と砂利の地質であることから、水の透過率が高いため川はない。また、山頂部は風の当たらないカルデラ内を除き、草地になっており、樹木の繁茂は見られない。

両方の山とも水蒸気爆発の痕跡が、海岸線を中心に存在しているが、火砕流の堆積物が残るのは三原山だけである。



気候…寒暖差が少なく、風が強く、雨が多い

気候区分上は温暖湿潤気候に属するが、黒潮に囲まれているため、海洋性気候に似た特徴を呈する。寒暖差は少なく、積雪や降霜、紅葉が基本的にない。また、周囲に遮るものがないので、1年中風が強く、雨が多い上に、天候が変わりやすい。台風、低気圧による強風、大雨による土砂災害等の風水害は近年増加傾向にあり、また、それら風害を一因とする塩害も古くから島民を悩ませているものである。



生物…“ハチジョウ”と名のつく植物や昆虫が多い

周囲を海に囲まれているため、八丈島における哺乳類は元々コウモリしかおらず、そのほかの動植物はWave(波)・Wind(風)・Wing(鳥の翼)という3Wの要素によって偶発的に渡ってきたものが多い。そうした動植物の中には、そのまま定着し進化を重ねたことで、ハチジョウ〇〇といった名のつく植物や昆虫なども多く存在する。植生の極相は、シイ・タブ林だと言われている。

2013(平成25)年からは八丈小島におけるクロアシアホウドリの繁殖行動、2015(平成27)年からはザトウクジラの回遊も見られるようになっている。

■地勢

		八丈島	八丈小島	その他岩礁等	八丈町
位置	北緯	33° 06'46"	33° 7'32"		
	東経	139° 47'21"	139° 41'18"		
面積		69.11km ²	3.07km ²	0.06km ²	72.24km ²

※面積：令和4年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）を基に八丈町が作成

※位置：市区町村の役所・役場及び東西南北端点の経度緯度（国土地理院）、地理院地図（国土地理院）を基に八丈町が作成

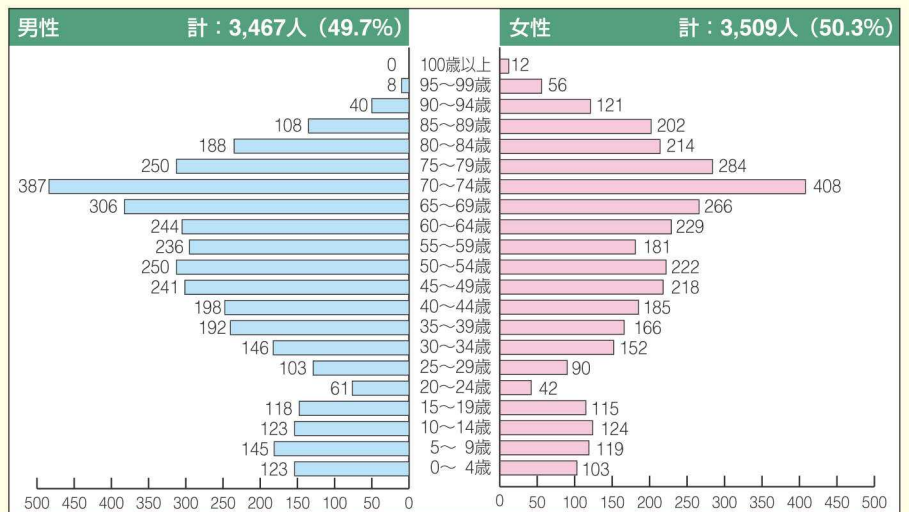
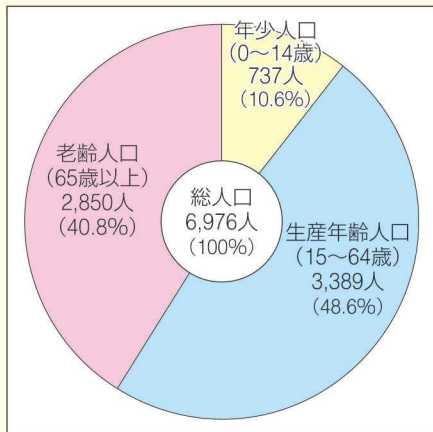
■気象概況（1991年1月1日～2020年12月31日の30年間平均）

主要気象		八丈町	東京	参考 値の近い他都市
気温	年平均（℃）	18.0	15.8	鹿児島県枕崎市 18.1
	最寒月平均（℃）	1月 10.1	1月 5.4	鹿児島県枕崎市 8.8
	最暖月平均（℃）	8月 26.5	8月 26.9	鹿児島県枕崎市 27.6
	日最高気温の最暖月平均（℃）	8月 29.6	8月 31.3	鹿児島県枕崎市 31.0
	日最低気温の最寒月平均（℃）	1月 7.6	1月 1.2	鹿児島県枕崎市 4.7
年降水量（mm）		3,306.6	1,598.2	熊本県阿蘇山 3,206.2
年日照時間（時間）		1,445.0	1,926.7	山形県新庄市 1,323.0
年平均湿度（%）		79	65	山形県新庄市 80
年強風日数	（10m/s以上）	112.4	16.3	千葉県銚子市 143.3
	（15m/s以上）	16.3	0.4	千葉県銚子市 25.4

※過去の気象データ（気象庁）を基に八丈町が作成

※年強風日数において、10m/s以上の日数は15m/s以上の日数を含む。

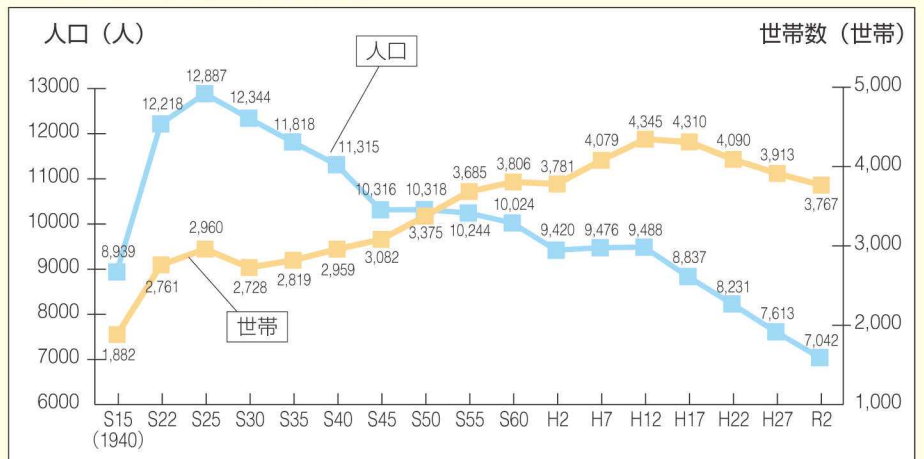
■年齢別人口構成（2022年4月1日）



■地域別世帯数と人口（2022年4月1日）

地域	世帯数	人口
三根	2,007世帯	3,403人
大賀郷	1,366世帯	2,237人
檜立	254世帯	444人
中之郷	361世帯	640人
末吉	170世帯	252人
計	4,158世帯	6,976人
八丈島における 外国人人口		102人

■人口・世帯数の推移

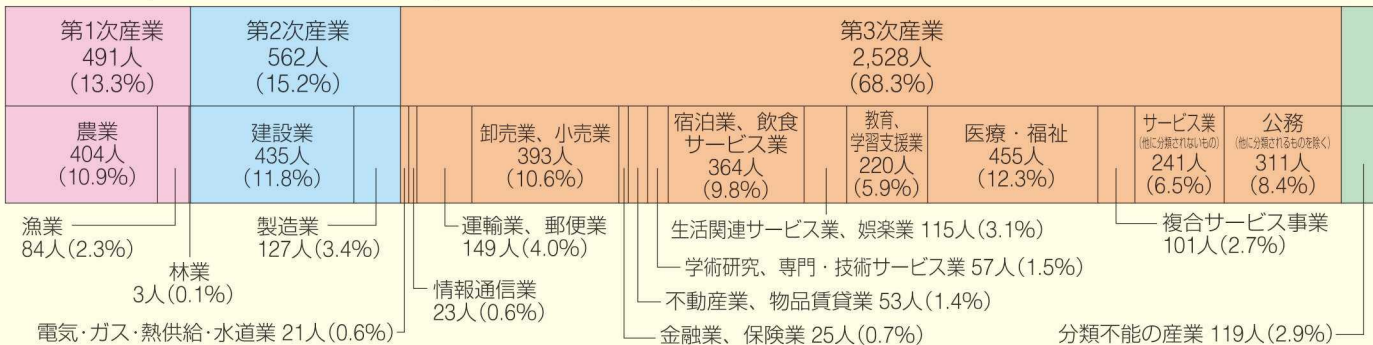


※国勢調査を基に八丈町が作成

産業別就業者数

※令和2年国勢調査を基に八丈町が作成

就業者数：3,700人 15歳以上人口：6,242人 労働力人口：3,777人



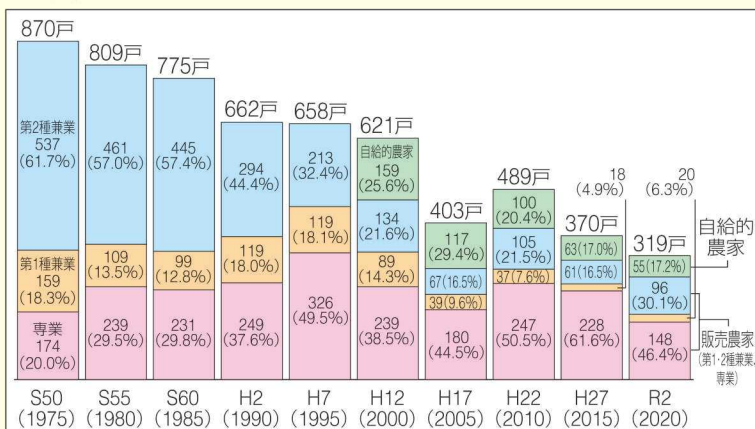
産業別就業者の推移



※国勢調査を基に八丈町が作成

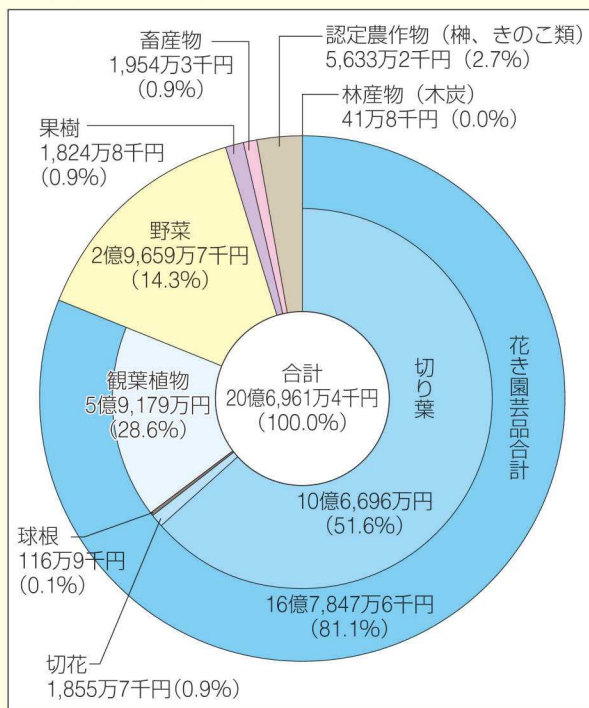
農業 AGRICULTURE

農家数の推移



※農林業センサスを基に八丈町が作成

農林業生産額 (2021年1月~12月)



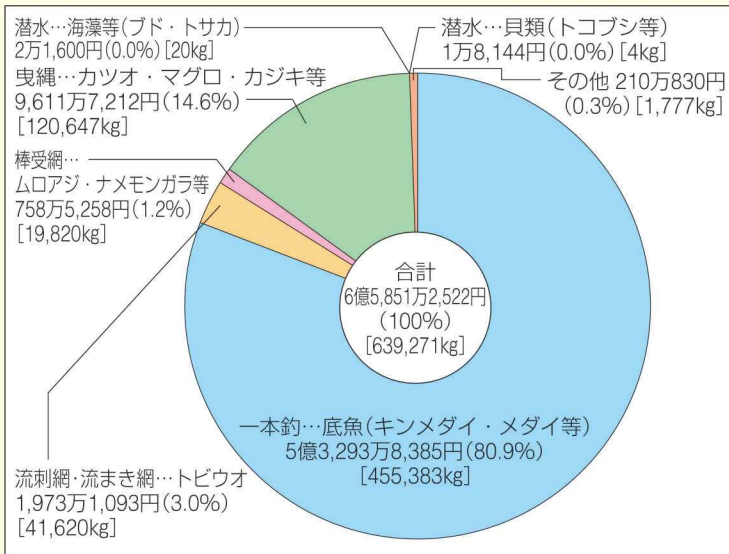
経営耕地・作物別作付面積 (2021年1月1日)

作物		面積		割合
作物	面積	割合	割合	
花き園芸	フェニックス・ロベニー	210ha	52.1%	68.0%
	球根類	1ha	0.2%	
	鉢物	17ha	4.2%	
	その他の花き	46ha	11.4%	
野菜	あしたば	55ha	13.6%	25.1%
	その他の野菜	46ha	11.4%	
果樹	6ha	1.5%	1.5%	
認定農作物 (榊・きのこ類)	22ha	5.5%	5.5%	
計	403ha	100.0%	100.0%	

※%は、少数第2位を四捨五入

漁業 FISHERY

■漁業生産額 (2021年1月～12月)



※%は、少数第2位を四捨五入

■魚種別漁獲量順位 (2021年1月～12月)

順位	種名	漁獲量
1	キンメダイ	377,084kg
2	マグロ類	52,398kg
3	メダイ	43,665kg
4	トビウオ	41,620kg
5	カツオ類	33,153kg
6	ムロアジ	17,782kg
7	アオダイ	7,544kg
8	赤サバ	6,292kg
9	アカハタ	5,637kg
10	オナガダイ	5,411kg

■漁港の状況 (2022年4月1日)

漁港名	種別	指定日	管理者	対象船舶	漁港施設		
					長さ		面積
					防波堤	岸壁	
神湊漁港	第4種	昭和26年7月10日	東京都	20ト	901m	1,028m	5,380㎡
八重根漁港	第4種	昭和26年7月10日	東京都	20ト	886m	752m	4,455㎡
中之郷漁港	第1種	昭和27年6月23日	東京都	20ト	251m	105m	3,748㎡
洞輪沢漁港	第1種	昭和27年6月23日	東京都	20ト	523m	229m	3,315㎡

※東京都八丈支庁調べ

※いずれの防波堤にも照明施設一式あり

■漁船数 (2021年12月31日)

3ト未満	37隻
3ト～10ト未満	59隻
10ト～20ト未満	14隻
20ト以上	0隻
計	110隻

※東京都八丈支庁調べ

※官公庁船を除く

商業 COMMERCE & MANUFACTURING INDUSTRY

■加工業製品生産調べ

(くさや類・農畜産物：2021年1月～12月/黄八丈・焼酎：2021年度)

品目	生産額
くさや類	4,290万6,600円
農畜産物	1億8,734万7,666円
黄八丈	8,619万5,313円
焼酎	約 1億7,500万円

※くさや類：八丈島水産加工業協同組合調べ

※農畜産物：八丈島乳業(株)及び八丈町調べ

※黄八丈：東京八丈島黄八丈織物協同組合調べ

※焼酎：八丈島内各酒造調べ

観光 SIGHTSEEING

■主な行事 (2021年1月～12月)

パブリックロードレース.....	1月(オンライン開催)
産業祭.....	中止
フリージアまつり.....	3～4月
夏まつり.....	中止
浜遊び.....	中止
納涼花火大会.....	中止
RAINBOW CUP2021(フットサル大会).....	11月
24時間チャレンジ八丈太鼓.....	11月
ユニバーサルキャンプ.....	12月(オンライン開催)
タコスカップ(サーフィン大会).....	12月

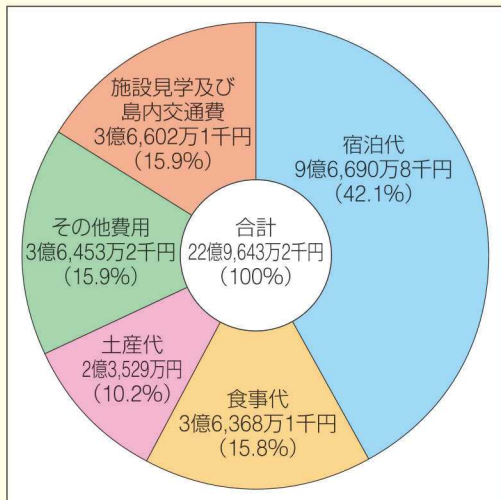
■宿泊施設 (2022年1月)

(休業中は含まず)

地域名	ホテル・旅館		民宿・ペンション		総数		キャンプ場	
	軒数	登録定員	軒数	登録定員	軒数	登録定員	施設数	張数
三根	2軒	280人	27軒	730人	29軒	1,010人	1ヶ所	80張
大賀郷	1軒	153人	30軒	539人	31軒	692人	1ヶ所	20人
檜立	0軒	0人	0軒	0人	0軒	0人	0ヶ所	0張
中之郷	0軒	0人	3軒	98人	3軒	98人	0ヶ所	0張
末吉	0軒	0人	1軒	25人	1軒	25人	0ヶ所	0張
計	3軒	433人	61軒	1,392人	64軒	1,825人	2ヶ所	80張/20人

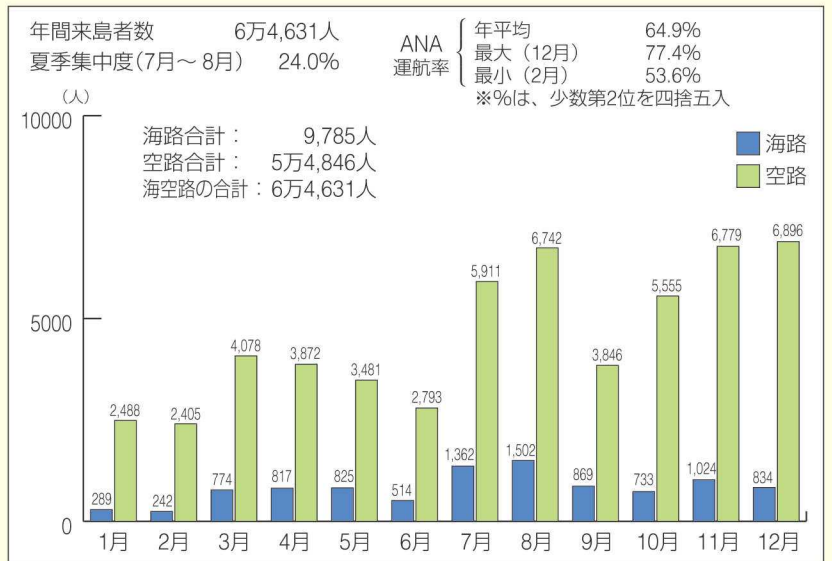
ホテル 1泊2食付	約 13,500円～	旅館 1泊2食付	約 8,600円～
ペンション 1泊2食付	約 8,600円～	民宿 1泊2食付	約 8,600円～

■観光客消費額推計 (2021年1月～12月)

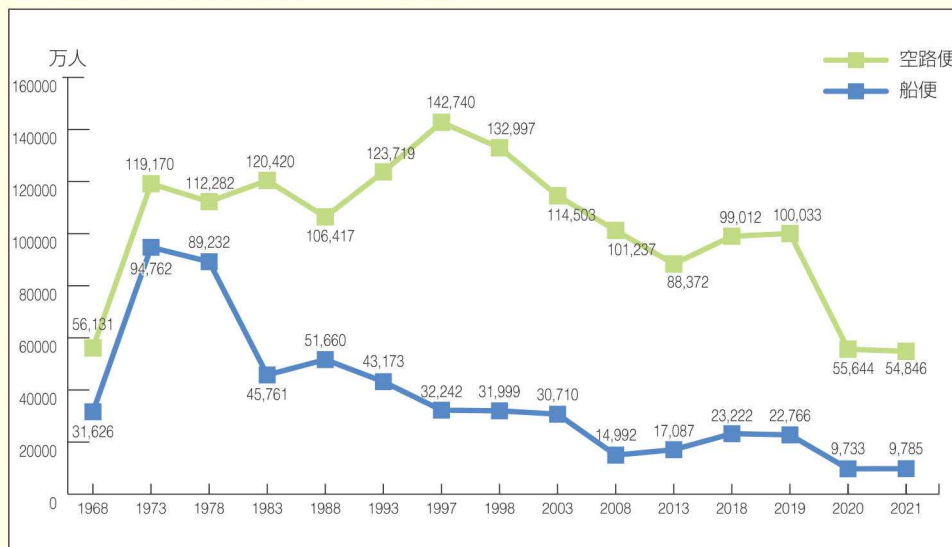


※%は、少数第2位を四捨五入

■航路別来島者数の月別推移 (2021年1月～12月)



■航路別来島者数の年別推移



期間	来島者数 (人)		
	空路便	船便	総数
2010	93,989	15,519	109,508
2011	89,729	16,282	106,011
2012	95,379	17,077	112,456
2013	88,372	17,087	105,459
2014	97,214	16,634	113,848
2015	86,301	18,832	105,133
2016	89,990	20,652	110,642
2017	95,889	24,913	120,802
2018	99,012	23,222	122,234
2019	100,033	22,766	122,799
2020	55,644	9,733	65,377
2021	54,846	9,785	64,631

保健 HEALTH

医療機関などの施設状況 (2022年4月1日)

施設区分	施設数
町立病院	1ヶ所
保健所	1ヶ所
診療所	2ヶ所
歯科診療所	7ヶ所
施術所	7ヶ所
・あんまマッサージ	
・指圧師	
・はり師 ・柔道整復師	
薬局	3ヶ所
薬種商	0ヶ所
医薬品特例販売店	5ヶ所
歯科技工所	1ヶ所

※東京都島しょ保健所八丈島出張所調べ

集団検診数 (2021年度)

検診の種類	人数
胃がん検診 (バリウム胃部X線)	301人
肺がん検診 (胸部X線)	820人
肺がん検診 (喀痰)	60人
大腸がん検診 (検便)	505人
乳がん検診 (マンモグラフィ・視触診)	258人
子宮頸がん検診 (内診・細胞診)	276人
特定健康診査 (国保) 健康診査 (後期)	774人
骨粗鬆症検診	実施なし
計	2,994人

温泉利用者数



福祉 WELFARE

高齢人口

(八丈島：2022年9月1日
/市町村部・東京・全国：2022年9月15日)

	八丈島	市町村部 (多摩・島しょ)	東京	全国
高齢人口 (65歳以上)	2,832人	108.9万人	312万人	3,627万人
比率	40.0%	26.0%	23.5%	29.1%

※東京・市町村部：2022年「敬老の日」にちなんで東京都の高齢者人口(推計)(東京都)を基に八丈町が作成
※全国：「統計からみた我が国の高齢者」(総務省)を基に八丈町が作成
※%は、少数第2位を四捨五入

高齢者祝金の状況 (2021年度)

種別	人数	金額
90歳祝金	45人	90万円
100歳祝金	2人	20万円

社会福祉協議会の状況 (2022年4月1日)

会員数	1,571件
事業予算	1億2,602万1千円
法人運営事業	3,823万2千円
地域福祉事業	2,187万9千円
受託事業	1,878万5千円
居宅介護事業	4,611万7千円
応急小口資金特別会計	100万1千円
歳末たすけあい特別会計	7,000円

※八丈町社会福祉協議会調べ

介護保険要介護認定者数 (2022年4月1日)

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
人数	90人	73人	85人	82人	86人	103人	82人	601人

児童手当支給状況 (2021年度)

	児童手当	児童育成手当
受給対象児童数	6,947人	1,507人
支給金額	7,728万5千円	2,050万4,500円

保育園状況 (2022年4月1日)

施設数	4箇所	入所率	49.88%
定員	431人	職員数	30人
実員	215人		{ 保育士 25人 調理員 5人 }
事業費	2億6,510万5,637円		
	国費	52万1千円	
	都費	4,443万8千円	
	町費	2億6,477万1,487円	
	住民負担	973万3,380円	
	その他	394万1,770円	

生活保護扶助別実施状況 (2021年度末)

世帯数	201世帯	区分	生活	住宅	教育	介護	医療	生業	葬祭	出産	計
人員	221人	金額	1億1,525万4,380円	4,895万1,123円	147万7,110円	1,112万7,498円	1億5,764万8,112円	16万75円	142万7,699円	0円	3億3,471万5,997円

※東京都八丈支庁調べ

障害者手帳交付状況

(2022年3月31日)

障害区分	人数
視覚	24人
聴覚	11人
肢体	151人
平衡	2人
言語	7人
そしゃく	1人
内部障害	105人
計	301人

※障害の重複あり

愛の手帳交付状況

(2022年3月31日)

年齢	人数
18歳未満	17人
18歳以上	52人
計	69人

精神障害者保健福祉手帳交付状況

(2022年3月31日)

交付数	78人
-----	-----

老人クラブの状況

(2022年4月1日)

クラブ数	18クラブ
会員数	816人
クラブ助成金額	449万2,662円

国民年金加入状況

(2022年3月31日)

種別	人数
第1号被保険者数	918人
第3号被保険者数	315人
任意加入被保険者数	14人
計	1,247人

国保保険給付費支払状況

(2021年度)

種別	金額
高額療養費	9,178万8,367円
退職被保険者等分	0円

種別	件数	金額
出産育児給付	10件	419万3,995円
葬祭費	21件	105万円

後期高齢者医療被保険者証交付状況

(2022年4月1日)

被保険者数	1,406人
-------	--------

国民年金受給権者数

(2022年3月31日)

老齢基礎年金	2,536人
老齢年金	108人
通算老齢年金	14人
障害基礎年金	126人
遺族基礎年金	4人
障害年金(旧)	4人
寡婦年金	1人
福祉年金	0人
特別障害給付金	0人

国保加入者数と平均保険税額

(2022年4月1日)

加入者数		平均保険税収額(医療分)	
世帯数	被保険者数	世帯	個人
1,650世帯	2,376人	8万1,078円/世帯	5万5,514円/人

医療 MEDICAL

町立八丈病院のべ患者数 (2021年度)

区分	一般診療ほか							
	計	内科	外科	産婦人科	小児科	リハビリ	透析	その他
入院	8,840人	7,020人	1,600人	190人	30人			
外来	3万4,537人	1万6,488人	6,291人	1,452人	2,827人	4,724人	2,755人	0人

区分	臨時診療												
	計	耳鼻咽喉科	精神神経科	整形外科	甲状腺内科	皮膚科	糖尿病内科	腎臓内科	消化器内科	眼科	泌尿器科	循環器内科	神経内科
外来	1万2,325人	1,292人	2,186人	1,250人	470人	1,422人	1,993人	434人	180人	2,560人	370人	13人	155人

後期高齢者医療給付の状況 (2021年度)

区分	受診件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	
療養の給付等	入院	993件	5億3,256万7,650円	9億4,374万3,499円	7,945万144円
	入院外	1万4,711件	2億1,890万3,600円		
	歯科	3,858件	4,258万5,820円		
	調剤	8,753件	2億296万9,770円		
	食事療養	900件	2,173万3,493円		
訪問看護	52件	443万3,310円			
療養費等	439件	493万5,839円	441万9,195円	51万6,644円	
計	2万4,566件	10億2,812万9,482円	9億4,816万2,694円	7,996万6,788円	

※受診件数の計に食事療養の件数は含まない

国保医療給付の状況(一般被保険者分) (2021年度)

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等	入院	535件	7,162日	3億2,881万3,850円	5億7,379万3,223円	1億8,638万7,279円
	入院外	1万1,654件	1万6,824日	2億3,309万5,280円		
	歯科	6,394件	8,971日	5,959万円		
	調剤	8,885件	1万6,171枚	1億3,959万3,280円		
	食事療養	498件	1万8,358回	1,225万3,875円		
訪問看護	56件	279日	375万8,380円			
療養費等	578件		509万9,342円	375万9,066円	134万276円	0円
計	2万8,102件	3万3,236日	7億8,220万4,007円	5億7,755万2,289円	1億8,772万7,555円	1,692万4,163円

※受診件数の計に食事療養の件数は含まない

※受診日数の計に調剤の枚数及び食事療養の日数は含まない

■小・中学校の状況

(2022年5月1日)

校種	校数	児童・生徒数	学級数	教員数
小学校	3校	312人	19学級	44人
中学校	3校	155人	11学級	46人

■学校施設の現況

(2022年5月1日)

学校名	構造	面積	教室数		校地面積	内 運動場	付属建物
			普通	特別			
三根小学校	RC3階建	3,980㎡	8教室	13教室	16,048㎡	9,102㎡ (芝生5,900㎡含む)	体育館RC= 1,088㎡ 倉庫S= 22㎡
大賀郷小学校	RC3階建	2,645㎡	6教室	11教室	11,351㎡	5,798㎡ (芝生2,771㎡含む)	体育館RC= 790㎡ 倉庫CB= 20㎡ 倉庫S= 22㎡ 地域・学校連携施設RC= 148㎡
三原小学校	RC2階建	2,179㎡	6教室	10教室	5,975㎡	2,436㎡ (芝生2,436㎡含む)	体育館RC= 695㎡ 倉庫S= 22㎡
富士中学校	RC2階建 CB	2,220㎡ 6㎡	3教室	13教室	23,852㎡	17,378㎡ (芝生848㎡含む)	体育館RC= 743㎡ 倉庫CB= 40㎡ 倉庫S= 9㎡
大賀郷中学校	RC2階建 RC平屋	2,008㎡ 63㎡	5教室	8教室	16,742㎡	6,800㎡ (芝生1,715㎡含む)	体育館RC= 848㎡ 倉庫CB= 60㎡ 倉庫S= 13㎡ 地域・学校連携施設RC= 150㎡
三原中学校	RC2階建	2,239㎡	3教室	10教室	14,874㎡	8,739㎡ (芝生2,731㎡含む)	体育館RC= 800㎡ 倉庫S= 116㎡

※RC=鉄筋コンクリート、CB=コンクリートブロック、S=鉄骨

■高等学校の状況

(2022年5月1日)

生徒数	全日制	139人
	定時制	23人
教員・職員数		74人

2021年度卒業生

卒業後の進路	全日制	定時制	割合
大学短大進学者	22人	0人	54%
専門学校等	5人	0人	12%
就職進学	1人	1人	2%
就職	8人	3人	20%
その他	5人	1人	12%
計	41人	5人	100%

※東京都立八丈高等学校調べ

■共同調理場方式完全給食

(2021年度、2022年度)

年度	給食数 (1日あたり)	給食 予定日数	給食費用単価(1食あたり)			
			小学校			中学校
			低学年	中学年	高学年	
2021	605食	190日	236.98円	269.16円	289.92円	331.56円
2022	616食	(うち米飯週3回)	236.98円	269.16円	289.92円	331.56円

平均月額給食費(2021年度11ヶ月)				
小学校			中学校	
低学年	中学年	高学年		
4,061円	4,645円	4,920円	5,630円	
4,050円	4,621円	4,885円	5,583円	

■図書館利用状況

(2021年度)

開館日数	202日	
利用者数	一般	6,537人
	児童	4,905人
		1,632人
平均利用者数	32人/日	
蔵書数	37,749冊	
視聴覚ライブラリー	ビデオ保有数	30巻
	DVD保有数	1,172枚

■指定文化財等件数

(2022年4月1日)

区分	件数(件)					総数
	国指定分	国登録分	国選択分	都指定分	町指定分	
天然記念物	1	0	0	0	7	8
有形文化財	0	2	0	18	39	59
無形文化財	0	0	2	0	0	2
無形民俗文化財	0	0	1	3	0	4
史跡・旧跡	0	0	0	6	2	8
計	1	2	3	27	48	81

地域を定めずに指定されている、管内に存在する国天然記念物

アカッコ
カラスバト
イジマムシクイ
カンムリウミスズメ
オカヤドカリ

■学校給食の状況

(2022年5月1日)

校種・校数	児童・生徒数	教職員等人数
小学校(3校)	312人	43人
中学校(3校)	155人	55人
給食人員計	565人	

■英会話教室

(2021年度)

クラス数	19クラス
受講者数	99人

■婦人会の状況

(2022年4月1日)

	三根	大賀郷	榎立	中之郷	末吉	計
会員数	222人	59人	35人	54人	30人	400人

※八丈島連合婦人会調べ

■公民館施設状況 (2022年4月1日)

公民館名	完成年度	面積 (㎡)					計
		集会室	厨房	図書会議室	和室	その他	
三根	2018年度	272	63	35	73	575	1,018
大賀郷	1984年度	253	60	30	75	328	746
檜立	1975年度	198	22	22	99	249	590
中之郷	1973年度	201	24	24	94	221	564
末吉	1978年度	242	26	20	97	229	614

■体育施設状況 (2022年4月1日)

施設名	完成年度	面積	構造	概要
富士グラウンド (富士野球場)	1988年度	12,521㎡	内野：混合土 外野：ロングパイル人工芝 外周：砂	両翼：98m 中堅：120m 外野部分：人工芝サッカーコートとして利用可 少年サッカーコート1面 フットサルコート3面
富士ゲートボール場	1990年度	4,483㎡	透水型砂入り人工芝	コート：3面 休憩所：平屋鉄筋コンクリート造、49.5㎡
八丈町 コミュニティセンター	ボウリング場	1971年度		2004年度に都から町へ移管 レーン：4本
	体育館	1971年度	砂入り人工芝	2004年度に都から町へ移管 コート：425㎡
	テニスコート	1995年度	砂入り人工芝	2004年度に都から町へ移管 コート：2面
檜立屋内運動場	1991年度	650㎡	体育館	2006年度末の檜立小学校廃校に伴い2007年度所管替 鉄筋コンクリート
檜立運動場		4,450㎡	クレー	2006年度末の檜立小学校廃校に伴い2007年度所管替
中之郷屋内運動場	1987年度	650㎡	体育館	2012年度末の中之郷小学校廃校に伴い2007年度所管替 鉄筋コンクリート
中之郷運動場		5,557㎡	クレー	2012年度末の中之郷小学校廃校に伴い2013年度所管替
末吉屋内運動場	1992年度	650㎡	体育館	2012年度末の末吉小学校廃校に伴い2013年度所管替 鉄筋コンクリート
末吉運動場		4,425㎡	クレー	2012年度末の末吉小学校廃校に伴い2013年度所管替
南原 スポーツ公園	サッカー場	2006年度	天然芝 (野芝)	サッカーコート2面：ピッチ寸法105m×68m 管理棟：平屋鉄筋コンクリート造、315.90㎡
	野球場	2011年度	内野：人工芝 外野：人工芝	両翼：92m 中堅：116m 付帯施設：ジョギングコース、芝生広場、壁打ち練習板

※南原スポーツ公園は条例上は町立公園に該当するが、用途を考慮し、その設備を本項目に記載する

■スポーツ・文化活動の状況 (2021年度)

スポーツ

種目	人数	活動状況	
野球	一般・児童 240人	OB (秋大会)、少年学童 (秋大会) その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常活動	
バレーボール	一般・児童 170人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常活動中心	
サッカー	一般・児童 200人	島外チームとの交流大会、ジュニア大会等 その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常活動	
バスケットボール	一般・児童 96人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常活動中心	
卓球	一般・児童 106人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常活動中心	
武道	柔道	一般・児童 30人	昇級審査会
	剣道	一般・児童 10人	その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常活動
テニス (硬式)	一般 27人	各種大会開催	
ゲートボール	一般 70人		
ゴルフ	一般 25人		
町民体育大会		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

文化活動

事業名	活動状況
團伊玖磨記念コンサート	第51回 八丈島團伊玖磨メモリアルコンサート 出演者：加藤 洋朗 (コーディネーター)、石川 えりか (ソプラノ)、松尾 俊介 (ギター)、加藤 昌則 (ピアノ)、河野 絃子 (ピアノ)
八丈島民大講座	1日目「大気に関係する環境問題—光化学オキシダント・PM2.5 オゾンホール—の科学」 2日目「日本の子どもの貧困を考える」
子ども文化体験	舞台観賞事業「森の音楽会」 あそび体験事業 グラウンドゴルフ [新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止]
八丈島文化フェスティバル	島内文化団体による舞台公演及び作品展示 [新型コロナウイルス感染症拡大防止のため作品展のみ実施]
八丈島伝統文化継承	八丈太鼓や地域の踊りなどを子どもたちに継承するための取り組み [新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止] 「八丈島芸能文化祭」 [新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止]
八丈島 JAZZ フェスティバル	1回目 子ども達を中心とした、島内外のプロ・アマによる JAZZ 公演、オンライン配信のみ 2回目 八丈ウインドオーケストラと共催し、未実施だった中高生と社会人による合同演奏
八丈島小島自然体験	子どもたちの小島への渡航体験。歴史、文化、自然体験活動を実施
婦人学級	教室…料理、生け花、寄せ植え、ゲートボール、編物

■八丈島歴史民俗資料館 (2021年度)

開館	2018年6月9日	展示品				
入館者数	1,694人	考古関係	民俗関係	歴史関係	その他	計
		約 110点	約 50点	5点	2点	約 167点

■八丈島地熱館 (2021年度)

開館	2013年8月31日
入館者数	—

※2021年2月1日から地熱発電所新設工事のため休館中

環境衛生施設数 (2022年4月1日)

区分	許可等件数 (件)
理容所	11
美容所	15
クリーニング所	4
コインオペレーションクリーニング施設	2
公衆浴場	7
ホテル・旅館・民宿等	82
興行場	2
プール(学校プール含む)	16
水道施設	15
小規模貯水槽水道等	32
温泉利用施設	10
墓地など	50
特定建築物	7
計	253

※東京都島しょ保健所八丈島出張所調べ

火葬・改葬 (2021年度)

火葬	102件
改葬	7件
計	109件

し尿・浄化槽汚泥収集運搬実績 (2021年度)

	運搬量	件数
し尿	4,443,730.0ℓ	1,668件
浄化槽汚泥	5,691,120.0ℓ	1,318件
計	10,134,850.0ℓ	2,986件

水道事業 (2021年度)

給水人口	6,954人	
普及率	99.7%	
水源取水能力	表流水	2,030m ³ /日
	地下水	4,230m ³ /日
	湧水	3,910m ³ /日
	計	10,170m ³ /日
有収水量	年間有収水量	1,083,386m ³
	平均有収水量	90,282m ³ /月
		2,968m ³ /日
	一人あたりの平均有収水量	418ℓ/日
給水収益	年間給水収益	2億3,909万8,635円
	平均給水収益	1,992万4,886円/月
	一人あたりの平均給水収益	2,805円/月
	給水栓数	5,906栓

※%は、少数第2位を四捨五入

ごみ処理取扱量 (2021年度)

施設	八丈町クリーンセンター 機械化バッチ燃焼式焼却炉		
処理能力	一日あたり17.00ト(8時間運転×2炉)		
区分	クリーンセンター処理量		
	収集	持込	計
燃やせるごみ	1,825.35ト	790.33ト	2,615.68ト
資源ごみ(飲料缶)	24.68ト	0.40ト	25.08ト
空きびん	68.06ト	32.30ト	100.36ト
発泡スチロール	2.02ト	0.27ト	2.29ト
金属ごみ	50.19ト	37.78ト	87.97ト
有害ごみ	2.60ト	0.79ト	3.39ト
計	1,972.90ト	861.87ト	2,834.77ト

その他のごみ		
資源ごみ	ダンボール	363.09ト
	新聞紙・雑誌・雑紙	108.29ト
	古着	3.04ト
	ペットボトル	28.21ト
島外搬出ごみ	不燃性粗大	197.26ト
	廃自動車	721台
	リサイクル家電	1,740台

家庭用生ゴミ堆肥化容器 (コンポスト) 貸与実績

(2021年度)

130ℓ	28件
230ℓ	98件
計	126件

合併処理浄化槽の状況 (2021年度)

汚水処理人口	2,929人
普及率	42.0%

※%は、少数第2位を四捨五入

水道料金 (2022年4月1日)

口径	装置料金	水道料金			
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
13mm	380円	1~10m ³	11~20m ³	21~50m ³	51m ³ 以上
20mm	450円				
25mm	460円	110円/m ³	145円/m ³	230円/m ³	275円/m ³
30mm	550円	1~50m ³	51~100m ³	101~500m ³	501m ³ 以上
40mm	590円				
50mm	1,530円	335円/m ³	375円/m ³	390円/m ³	400円/m ³
65mm	1,660円	1~100m ³	101~500m ³	501~5,000m ³	5,001m ³ 以上
75mm	1,900円				
100mm	2,270円	390円/m ³	400円/m ³	415円/m ³	435円/m ³
臨時用(工事等)	5,800円	480円/m ³			

■町営バス運行実績 (2021年度)

種 類	走行距離		輸送人員		収入金額	
	距離	割合	人員	割合	金額	割合
一般乗合	135,990.1km	84.0%	7万9,962人	88.1%	1,245万5,745円	25.2%
貸切	25,999.1km	16.0%	1万831人	11.9%	3,704万4,276円	74.8%
計	161,989.2km	100.0%	9万793人	100.0%	4,950万212円	100.0%

※%は、少数第2位を四捨五入

■航空貨物取り扱い高

(2021年1月～12月)

移出	265ト	移入	180ト
----	------	----	------

※東京都八丈支庁調べ

■タクシー台数 (2022年11月1日)

区 分	業者数	台数
1台で営業している業者	2業者	2台
2台以上で営業している業者	3業者	13台
計	5業者	15台
内 ジャンボタクシー使用業者	3業者	3台
内 福祉タクシー使用業者	0業者	0台

※八丈島乗用旅客自動車協会調べ

■町営バス台数 (2022年度)

種 類	乗車定員	台 数
乗 合	中型車	59人乗り 2台
		58人乗り 1台
	小型車	31人乗り 1台
貸 切	大型車	52人乗り 1台
		49人乗り 2台
	中型車	42人乗り 1台
		36人乗り 1台
		35人乗り 2台
計	11台	
路線数 (系統数)	3路線5系統	

■トラック台数 (2022年4月1日)

総業者数	10業者
トラック台数 (1ト車以上)	55台

※(株)東京都トラック協会八丈島支部調べ

■テレビ放送 (2022年12月1日)

名 称	開局日
東京都八丈中継局	2009年3月3日
東京都八丈末吉中継局	2010年11月1日
東京都八丈洞輪沢中継局	2009年3月5日

※デジタル中継局開局情報 (総務省) を基に八丈町が作成

■観光バス貸切(ガイド付)料金 (2022年度)

区 分	大型車 (34名以上)	中型車 (21～33名)	中型車 (割引) (1～20名)
1 周 コー ス	10万3,840円	9万2,400円	8万1,900円
半 周 コー ス	6万6,880円	5万9,400円	5万1,480円
送 迎	2万7,984円	2万4,200円	2万4,200円

■八丈島内郵便局の状況 (2022年12月1日)

区 分	名 称	集 配
直 営	八丈島郵便局	
	三根郵便局	○
	八丈島樫立郵便局	
	中ノ郷郵便局	○
	末吉郵便局	

■電力の状況 (2021年度)

認 可 出 力	内 燃 力 発 電	15,100kw
	地 熱 発 電	2019年3月29日廃止
日 最 大 電 力	最 大 電 力	8,700kw
	発 生 月 日	2021年8月30日

※東京電力パワーグリッド(株)東京総支社島嶼業務センター八丈島事務所調べ

■海上貨物取り扱い高

(2021年1月～12月)

分類	移出(ト)	移入(ト)		
			移出(ト)	移入(ト)
農 水 産 品	米・雑穀・豆	0	144	
	野菜・果物	5	2,011	
	その他農産品	2,957	68	
	畜産品	108	3,610	
	水産品	1,816	3,623	
林産品	林産物	2,475	2,503	
鉱産品	砂利・砂	0	44,741	
	車 両	2,957	6,022	
金属機械工業品	非鉄金属	13	20	
	金属製品	1,093	6,326	
	その他機械・部品	7	0	
化学工業品	セメント	0	5,936	
	その他窯業品	14	1,822	
	LPG・LNG	0	2,829	
	重 油	713	11,047	
	石油製品	1,072	4,376	
	化学肥料	0	0	
	その他化学工業品	0	0	
	軽工業品	飲 料	158	1,737
		製造食品	110	135
		その他・食料工業品	0	2
雑工業品	日 用 品	1,589	2,918	
	その他製造工業品	3	1	
特殊品	金 属 く ず	0	13	
	動植物性製造飼肥料	2	845	
	廃 棄 物	1,766	241	
	廃 土 砂	1,544	7	
	輸 送 用 容 器	5,882	6,515	
	再 利 用 資 材	772	213	
	取り合わせ品	3,626	15,187	
分類不能のもの	289	1,225		
計	28,971	124,117		

※港湾調査 (国土交通省) を基に八丈町が作成

※移出入いずれが1ト以上の実績があるもののみ記載

■自動車台数 (2022年3月31日)

車 種	台 数	管 轄 ・ 備 考
普通自動車	704台	自動車検査登録情報協会
小型自動車	1,632台	
内 三輪以上	1,550台	自動車検査登録情報協会
内 二輪 (小型二輪)	82台	自動車検査登録情報協会
軽自動車	4,584台	
内 三輪以上	4,481台	八丈町
内 二輪 (軽二輪)	103台	八丈町
大型特殊自動車	160台	自動車検査登録情報協会
小型特殊自動車	117台	八丈町
原動機付自転車	568台	八丈町
計	7,765台	
平均保有台数	1.11台/人	1.87台/世帯

※東京都八丈支庁及び八丈町調べ

■八丈町都市計画区域

1972年2月22日付東京都知事に申請
1973年1月5日 全域を都市計画区域(区域区分非設定)に指定

■都道と町道 (2022年4月1日)

	都 道	町 道
延 長	59,330m	435,199m
面 積	725,478㎡	1,513,726㎡
舗装率	100.00%	41.80%

※東京都八丈支庁及び八丈町調べ

■公園と児童遊園地 (2022年4月1日)

施設名	管理者	面 積	備 考
東京都立八丈植物公園	東京都	224,068㎡	散歩、休息、遊戯、鑑賞
底土園地	東京都	987㎡	散歩、休息、遊戯
底土野営場	東京都	13,145㎡	野営、炊事、休息
南原園地	東京都	8,600㎡	散歩、休息
大潟浦園地	東京都	12,232㎡	散歩、休息、遊戯
登龍園地	東京都	1,851㎡	散歩、休息
大賀郷園地	東京都	129,796㎡	散歩、休息、遊戯
護神山公園(護神山緑地)	八丈町	12,438㎡	都市計画緑地、散歩、休息
底土海浜公園	八丈町	14,720㎡	都市計画公園、散歩、休息
八丈プラザ公園	八丈町	26,016㎡	都市計画公園、野営、炊事、散歩、休息
南原スポーツ公園	八丈町	59,797㎡	都市公園、サッカー場、野球場
神湊児童遊園地	八丈町	1,447㎡	散歩、休息、遊戯
稲葉児童遊園地	八丈町	2,128㎡	散歩、休息、遊戯
八重根児童遊園地	八丈町	882㎡	散歩、休息、遊戯
大里児童遊園地	八丈町	730㎡	散歩、休息、遊戯
榎立児童遊園地	八丈町	1,484㎡	散歩、休息、遊戯

※東京都八丈支庁及び八丈町調べ

■港湾施設 (2022年4月1日)

種類	港名	管理者	設立年月日	対象船舶	港湾施設	備考
地方港湾	神湊港(底土港)	東京都	1953年3月31日	小型船 500トン~5,000トン	岸壁(-6.0~7.5m) 310m 船客待合所 一棟 輸送管設備 一式 夜間荷役照明 一式 船揚場 1,320㎡ 荷捌用地 11,270㎡	神湊港(底土)船客待合所 2014年7月1日供用開始
	八重根港	東京都	1953年3月31日	500トン~5,000トン	岸壁(-6.0~7.5m) 230m 船客待合所 一棟 輸送管設備 - 夜間荷役照明 - 船揚場 - 荷捌用地 1,399㎡	八重根港船客待合所 2012年2月1日供用開始
避難港	洞輪沢港					1954年7月2日指定

※東京都八丈支庁調べ

■都市計画道路 (2022年4月1日)

八丈都市計画道路3・4・1号 底土・空港・八重根線		
延 長	約7,352m	
幅 員	18m	
交通広場	底土	約6,600㎡
	八重根	約5,200㎡
都市計画決定日	1979年3月29日	
延伸決定日	1989年3月20日	

区間	事業認可	認可区間	完成年度
第1期	1980年1月16日	空港~倉の坂交差点 2,062m	1986年度
第2期	1986年6月19日	倉の坂交差点~底土交通広場 1,690m	1999年度
第3期	1989年10月25日	八重根交通広場~西見交差点 1,960m	2003年度
第4期	1995年3月1日	西見交差点~空港 1,640m	2011年度

※東京都八丈支庁調べ

■八丈島空港の施設状況 (2022年4月1日)

種 別	地方管理空港	
供用開始日	1962年5月1日	
政令指定日	1958年12月25日	
空港の位置	北 緯	33° 06' 51"
	東 経	139° 47' 00"
	標 高	89.3m
飛行場用地(場内道路含む)	総 面 積	763,241㎡
	国 有 地	336,087.69㎡
	都 有 地	427,153.31㎡
対 象 機 種	エアバス320-271N	
	ボーイング737-800	

基本施設	滑走路	着陸帯	誘導路	エプロン
	延長 2,000m 幅員 45m SIWL 24トン (舗装厚 30cm)	延長 2,120m 幅員 150m	延長 85m 幅員 23m	面積 15,300㎡ 3バース
ターミナルビル	飛行場灯火			
3階建 延床面積 3,975.44㎡	飛行場灯台、簡易式進入灯、進入角指示灯、進入路指示灯、滑走路灯、滑走路末端灯、滑走路末端識別灯、滑走路中心線灯、過走帯灯、誘導路灯、誘導路中心線灯、風向灯、エプロン灯			

※東京都八丈支庁調べ

■町営住宅の現況 (2022年3月31日)

地域	団地名	構造	間取り別戸数(戸)			
			1K, 1DK, 1LDK	2K, 2DK, 2LDK	3K, 3DK, 3LDK	計
三根	群ヶ平第2団地	耐火	0	0	16	16
	中道団地	簡耐・耐火	13	36	15	64
	富士見団地	耐火	5	10	8	23
	神湊第1団地	耐火	24	0	0	24
	神湊第3団地	耐火	11	6	6	23
	桜平団地	耐火	13	8	8	29
	新道団地	耐火	2	8	2	12
	丘里団地	耐火	0	12	4	16
小計	8団地		68	80	59	207
大賀郷	原山団地	耐火	0	6	6	12
	八蔵団地	耐火	6	0	48	54
	寺山団地	耐火	11	7	20	38
	八重根団地	耐火	12	0	0	12
小計	4団地		29	13	74	116
榎立	湯浜団地	簡耐	0	0	8	8
	康政里住宅	木造	0	0	2	2
	東六里住宅	木造	0	0	6	6
	康政里第2住宅	木造	0	0	6	6
	江能里住宅	木造	0	0	3	3
	小計	5団地		0	0	25
中之郷	上浦団地	簡耐	0	0	8	8
	中之郷団地	耐火	5	2	8	15
	粥倉住宅	木造	0	0	2	2
	粥倉第2住宅	木造	0	0	2	2
	藍ヶ里住宅	木造	0	0	4	4
	尾越住宅	木造	0	0	2	2
	尾越第2住宅	木造	0	0	4	4
	中里住宅	木造	0	0	2	2
	三原住宅	木造	0	0	4	4
	三原第2住宅	木造	0	0	1	1
	藍ヶ江住宅	木造	0	0	2	2
上浦住宅	木造	0	0	2	2	
小計	12団地		5	2	41	48
末吉	末吉団地	耐火	2	2	4	8
	瀬戸団地	耐火	8	2	5	15
	神子尾住宅	木造	0	0	2	2
	道ヶ沢住宅	木造	0	0	2	2
	名古屋住宅	木造	0	0	2	2
小計	5団地		10	4	15	29
合計	34団地		112	99	214	425

■警察署の概要 (2022年4月1日)

区分	設置数	職員数
本署	1ヶ所	32人
駐在所	7ヶ所	7人

※警視庁八丈島警察署調べ

■少年事案取り扱い件数(刑法犯のみ) (2021年1月~12月)

罪種	件数
粗暴犯	0件
窃盗	0件
その他特別法犯	0件
計	0件

※警視庁八丈島警察署調べ

■犯罪件数 (2021年1月~12月)

罪種	件数
凶悪犯	0件
粗暴犯	1件
盗犯	6件
知能犯	0件
その他	1件
計	8件

※警視庁八丈島警察署調べ

■民有家屋などの棟数 (2022年1月1日)

区分	木造	木造以外	総数	
個人	棟数	3,946棟	1,073棟	5,019棟
	平均床面積	82.5㎡	106.4㎡	87.6㎡
法人	棟数	243棟	385棟	628棟
	平均床面積	91.2㎡	272.8㎡	202.5㎡
合計	棟数	4,189棟	1,458棟	5,647棟
	平均床面積	83.0㎡	150.4㎡	100.3㎡

※固定資産課税台帳調べ

■消防団などの状況 (2022年4月1日)

区分	人数(人)								
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員	総数
本部	1	2	0	0	1	1	15	0	20
三根	0	0	1	1	6	11	19	11	49
大賀郷	0	0	1	1	6	19	22	12	61
榎立	0	0	1	1	4	7	7	10	30
中之郷	0	0	1	1	5	12	7	13	39
末吉	0	0	1	1	4	7	2	8	23
計	1	2	5	5	26	57	72	54	222

消防本部

職員 27人

■消防施設など (2022年4月1日)

区分	施設数(箇所)						
	三根	大賀郷	榎立	中之郷	末吉	総数	
防火水槽	40㎡以上	76	67	20	25	20	208
	40㎡未満	2	5	0	1	1	9
消火栓	3	0	0	1	0	4	
詰所	1	1	1	1	1	5	
分所	0	0	0	0	0	0	
器具置場	1	0	0	0	1	2	

■消防車両の状況 (2022年4月1日)

種類	台数
消防ポンプ自動車	7台
指揮車	2台
照明電源車	2台
救急車	2台
可搬ポンプ	4台
計	17台

■原因別救急出動件数 (2021年度)

事故種別	件数
火災事故	0件
自然災害	0件
水難	6件
交通事故	13件
労働災害	6件
運動競技	2件
一般負傷	82件
加害	2件
自損行為	8件
急病	336件
転院搬送	41件
その他	0件
計	496件

■交通事故件数 (2021年1月~12月)

件数	114件
内 飲酒が原因のもの	3件

※警視庁八丈島警察署調べ

■一般会計決算（純計）（2021年度）

決算収支の状況	歳入総額(A)	88億4,604万円
	歳出総額(B)	86億247万3千円
	歳入歳出差引額(A-B)(C)	2億4,356万7千円
	翌年度へ繰越すべき財源(D)	8,895万5千円
	実質収支(C-D)(E)	1億5,461万2千円
	単年度収支(F)	-1,338万6千円
	積立金(G)	0円
	繰上償還額(H)	0円
	積立金取崩額(I)	0円
	実質単年度収支(F+G+H-I)	-1,338万6千円
指数等	基準財政需要額	36億3,660万2千円
	基準財政収入額	9億4,201万2千円
	標準財政規模	40億7,553万6千円
	財政力指数	0.286
	単年度	0.259
経常収支比率	78.3%	

■特別会計決算（2021年度）

会計別	歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出差引額(A-B)
介護保険	10億9,443万円	10億7,556万6千円	1,886万4千円
国民健康保険	11億5,140万7千円	10億8,767万7千円	6,373万円
後期高齢者医療	2億726万1千円	2億719万8千円	6万3千円

■企業会計決算（2021年度）

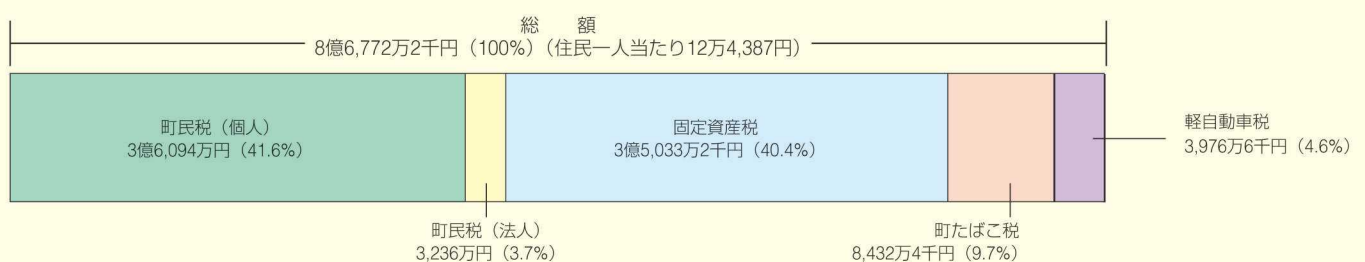
会計別	総収益(A)	総費用(B)	当年度純利益(損失)(A-B)
水道事業	4億4,085万4千円	4億1,114万5千円	2,970万9千円
一般旅客自動車運送事業	1億4,318万9千円	1億4,146万7千円	172万2千円
病院事業	14億6,219万4千円	14億669万6千円	5,549万8千円
浄化槽設置管理事業	4,518万3千円	4,829万7千円	-311万4千円

■税目別町税収入決算額（2021年度）



※住民一人当たりの金額は、2021年4月1日時点の人口を基に算出
※%は、少数第2位を四捨五入

■税目別町税収入予算額（2022年度）



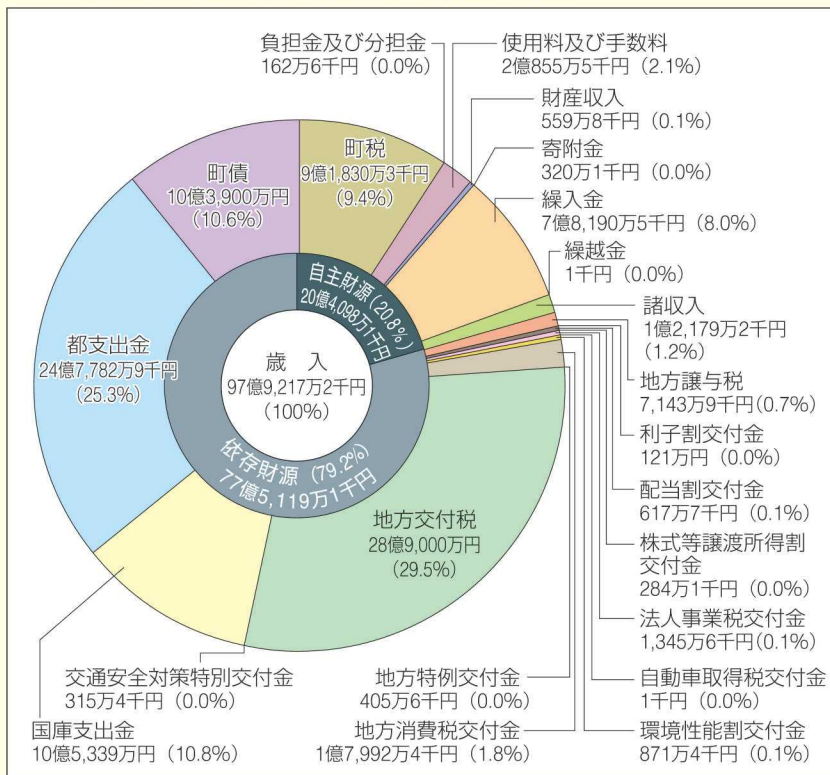
※住民一人当たりの金額は、2022年4月1日時点の人口を基に算出
※%は、少数第2位を四捨五入

■当初予算（2022年度）



※%は、少数第2位を四捨五入

■一般会計歳入予算額(当初予算) (2022年度)



※%は、少数第2位を四捨五入

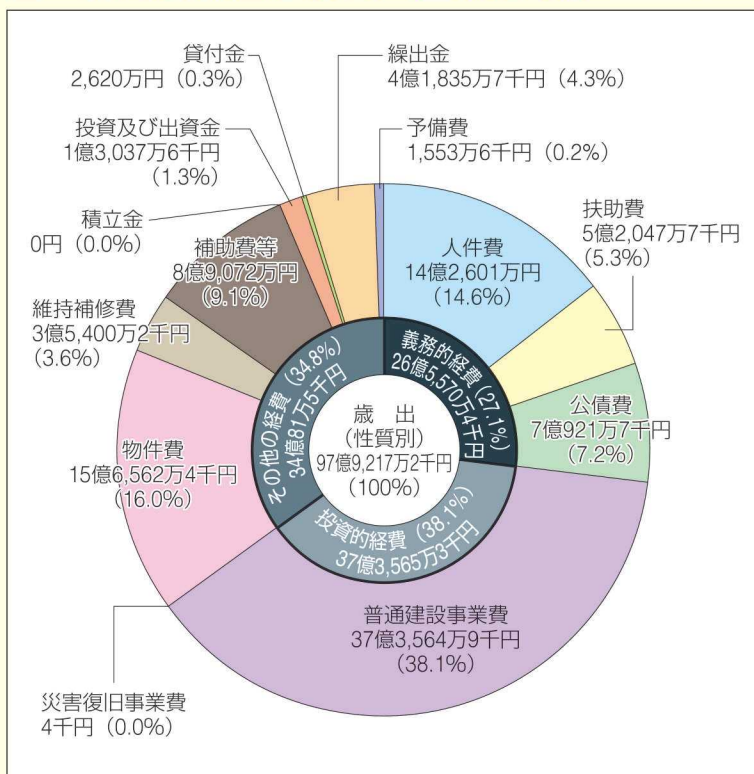
■特別会計予算額(当初予算) (2022年度)

会計別	当初予算額
介護保険	10億6,736万4千円
国民健康保険	12億1,954万6千円
後期高齢者医療	2億2,046万4千円

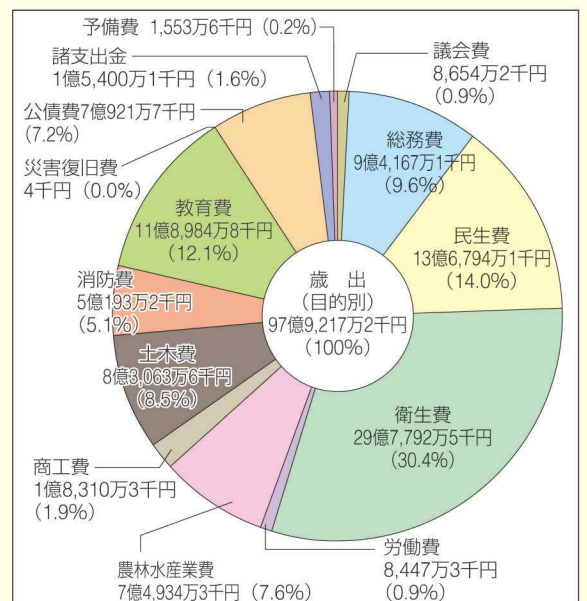
■企業会計予算額(当初予算) (2022年度)

会計別	当初予算額
水道事業	13億6,184万8千円
一般旅客自動車運送事業	4億9,627万8千円
病院事業	18億1,046万4千円
浄化槽設置管理事業	1億415万3千円

■一般会計歳出予算額(当初予算) (2022年度)



※%は、少数第2位を四捨五入



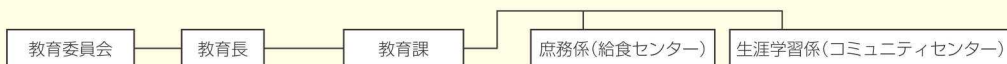
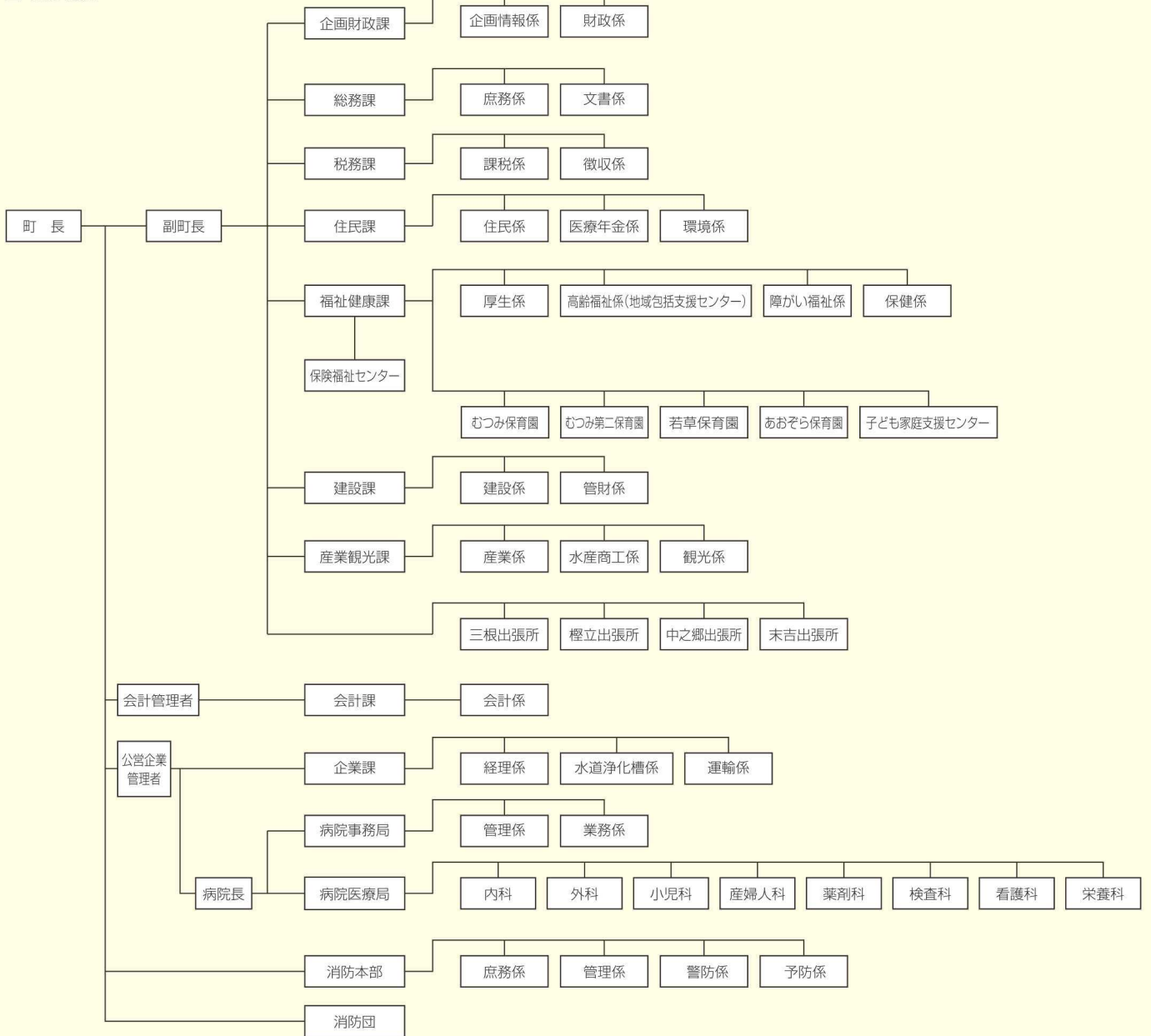
※%は、少数第2位を四捨五入

■八丈町機構図 (2022年4月1日現在)

■ 議決機関



■ 執行機関

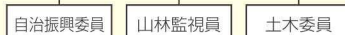


監査委員

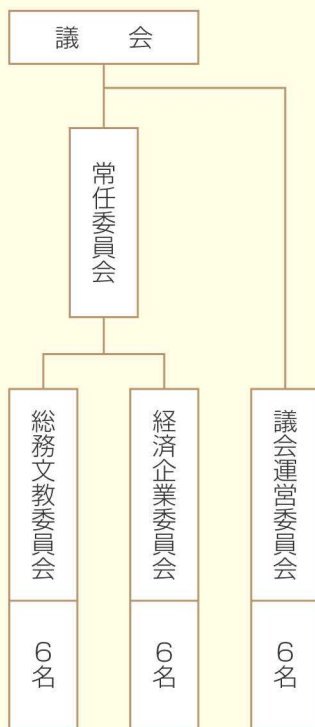


固定資産評価審査委員会

(専門機関)



■議会構成 (2022年11月1日)



■党派別議員数 (2022年11月1日)

党派	人数
自由民主党	1人
公明党	2人
無所属	9人
計	12人

■町議会会議開催状況 (2021年1月～12月)

会議名		回数
本会議	定例会	4回
	臨時会	1回
総務文教委員会		0回
経済企業委員会		0回
議会運営委員会		5回
全員協議会		2回
総務文教委員協議会		1回
経済企業委員協議会		1回

■町長提出付議事件件数 (2021年1月～12月)

種類		件数 (件)					
		原案可決	修正可決	否決	継続審査	審議未了	撤回
地方自治法第96条第1項議決事件	条例 (第1号)	19	0	0	0	0	0
	予算 (第2号)	37	0	0	0	0	0
	決算 (第3号)	8	0	0	0	0	0
	第4号から第14号までの議案	11	0	0	0	0	0
地方自治法第96条第1項第15号及び第96条第2項を含むその他全ての議案		21	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第179条)		8	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第180条第2項)		0	0	0	0	0	0

町民憲章

青い海原に囲まれた緑の島山の美しい自然と、古い歴史に恵まれたわたしたちは、この八丈島に住むことを誇りとし、八丈町の限りない発展と、明るく平和な町づくりをすすめることを願い、町民ひとりひとりの道しるべとして、この町民憲章を定めます。

昭和59年10月1日施行

わたしたち八丈町民は

- 郷土を愛し、環境をととのえ、みどり豊かな町をつくりましょう。
- お年寄りを大切にし、子供たちが健やかに育つ、あたたかい町をつくりましょう。
- 伝統をととび、教養を深め、文化の香り高い町をつくりましょう。
- はたらくことを喜び、産業の発展につくし、いきいきとした町をつくりましょう。
- きまりを守り、互いに助け合い、人情味あふれる明るい町をつくりましょう。



東京都八丈町勢要覧 「はちじょう2022」

令和5年3月 印刷・発行

編集・発行：八丈町企画財政課企画情報係
東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2
電話 04996-2-1120 URL <https://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷：明誠企画株式会社
東京都武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233 (代)

